

令和3年度 保育園の自己評価

(1)令和3年度総括

新型コロナ感染症の対応に追われる一年だった。職員の熱心な対策で8/24と2/5の2日だけの休園で済み保護者に大きな負担をかけずに済んだ事は良かった。ウイズコロナに切り替え、行事は予定通り実施。園児には普段と変わらない最善の利益の保育を提供する事ができた。

(2)評価課題への取り組み

①保育理念・基本方針

散歩などを通して原風景を見せたり、原体験をさせたりして、感動・発見・好奇心・研究心などを育てた。

②保育計画（年間・月案・週案・日案）

コロナ禍の中でも、計画通りの保育を進める事ができた。

③個別記録・保育要録

個々の成長の記録、育ちを保育要録にして、小学校に円滑に接続ができた。

④年間行事（保育参観）

計画した行事はすべて実施した。保育参観はクラス毎に特色を出して実施し、日々の保育が分かり喜ばれた。

⑤保健・安全・環境

コロナの感染拡大を防ぐべく努力した結果、大きく広がらずに済んだ。毎月の安全点検、環境の整備をしっかり行った。

⑥子育て支援（育児・発達障害・保健）

特に0歳児の親に対しては、育児・離乳食などを指導した。発達の障害が見られる園児には、保健所など専門機関と連携を図りながら、親の協力も得ながら改善に努めた。

⑦食育活動（行事食・菜園・アレルギー）

行事食や菜園作りに力を入れると共に、スイカ割り大会やトウモロコシの皮剥きなど、食物と関わる食育活動をたくさん行った。

⑧職員会議（自己評価・研修報告・服務規律）

職員会議での園内研修、研修報告を積極的に行った。研修報告は参加した職員の「復命書」を回覧して全職員で共有した。

⑨保育士の研修体系（宮崎市保育会研修部・自主研修）

ややコロナが落ち着いて後半に集中したが、勤務をやりくりしてすべての研修に出席するようにした。

⑩地域との関わり

コロナで夏まつり、福祉祭り、文化祭等など、地域と関わる催しはすべて中止。来年度に期待する。

⑪父母の会との連携（保護者会議）

例年の運動会前の保護者会もコロナで中止。その中で役員や世話役の方とは送迎時にゆっくり話ができて協力的だった。記念品、卒園式の事でも連携がうまくとれて保護者の誠意が伝わってきた。

⑫苦情解決制度（苦情解決委員会）

1件苦情があった。苦情解決委員の協力もありスムーズな解決をした。

(3)令和4年度の目標、課題

コロナの収束を願うばかりだが、ウイズコロナで保育する術も分かってきた。立てた目標・課題はすべて実施する予定。

子どもの最善の利益の保育と事故やケガが無いよう、コロナ禍の中でも園児が喜ぶ実りある保育を行っていききたい。